



松野町松丸の庄屋に生まれた芝不器男は、豊かな自然と深い文化の息づく、この町で育まれた感性により昭和初期を代表する俳人として活躍しました。しかし、26歳10か月という短い生涯のため、残された俳句は少なく、「俳壇に流星のごとく現れて流星のごとく去った」天才俳人として今でも俳句の世界で高い人気を誇っています。

『俳句の小径』は、芝不器男の俳句を刻んだ句碑を巡るコースです。不器男記念館を中心に、旧松丸街道と史跡河後森城を巡る【山めぐり】と、ぼっぼ温泉や虹の森公園を巡る【川めぐり】の2コースがあります。

それぞれの俳句には、句から読み取れる情景や技法を解説している音声ガイドを作成しています。各句碑に設置している看板の2次元バーコードを読み取ることで聴くことができますので、お楽しみください。



※松野町では、芝不器男の生まれた江戸時代から続く庄屋邸を記念館として修復し、芝不器男の直筆の短冊や愛用品を展示しております。ぜひお訪ねください。  
TEL 0895-42-1584



## 記念スタンプ

※記念スタンプは不器男記念館に設置しています。

お問い合わせ先  
**松野町教育委員会**  
TEL0895-42-1118



# 俳句の小径マップ

## 山めぐり

①	筆始歌仙ひそめくけしきかな <small>ふで はじめ か せん</small>
②	永き日のはとりに柵を越えにけり
③	あなたなる夜雨の葛のあなたかな <small>よ さめ くず</small>
④	ふるさとの幾山垣やけさの秋 <small>いく やま がき</small>
⑤	ふるさとや石垣薔朶に春の月 <small>いし がき し だ</small>
⑥	澤の邊に童と居りて蜘蛛合 <small>さわ へ わらべ を くも あわせ</small>
⑦	風鈴の空は荒星ばかりかな <small>ふう りん</small>
⑧	泳ぎ女の葛隠るまで羞ぢらひぬ <small>およ め くず かく は づ ぢ ら ひ ぬ</small>
★	季節に合わせた入替句

## 川めぐり

①	柿もぐや殊にもろ手の山落暉 <small>かき もぐ こと やま の た け</small>
②	汽車見えてやがて失せたる田打かな <small>くるま みて や が て う せ た る た うち かな</small>
③	寒鴉己が影の上におりたちぬ <small>かん がらす じ が え の 上 に お り た ち ぬ</small>
④	桑原に登校舟つく出水かな <small>くわ ばら に のぼ り ぶね つく 出 水 かな</small>
⑤	川蟹の白きむくろや秋磧 <small>かわ がに の 白 き むくろ や あき がわら</small>
⑥	卒業の兄と来てゐる堤かな <small>そつぎょう の あに と き て ゐ る 堤 かな</small>
⑦	秋の日をとづる碧玉数しらず <small>あき の ひ と と ズ る へきぎよく 数 し ら ず</small>
⑧	うまや路や松のはろかに狂ひ嵐 <small>うま や 路 や ま つ の は ろ か に くる だこ</small>

